

平成 29 年 6 月 稲羽地区地域ケア連絡会（26 日・27 日）グループワークでのご意見
（別紙参考事例を読んで）『似たような事例に関わったこと・聞いたことがありますか？
お困りごとをお聞かせください。体験談や、人から聞いた話など、ご自由に。ご自分の町の
話でなくてもかまいません。また、“その問題にはこうやって対応している”ということが
あれば、教えてください。アイデアもお聞かせください』

◆サロン、クラブ活動など

◎介護状態になる前に、地域でできることはないだろうか？

◇ボランティアハウス

◎週 1 回、自宅を開放してボランティアハウスをしている。1 食 200 円で昼食も提供して
いる（社協から補助がある）。ふだんは一人で昼食を食べておられる方が多く、「週 1 回で
もみんなで昼食を囲めたら…」と、みなさん楽しみにしておられる。

◎夫がデイサービスに行かれています。参加される方もいる。

◎男性が少ない。参加者の平均は 80 歳。

◎ボランティア側も高齢化してきている。

◎ご自分で来れることが原則。送迎はしていない。何かあった時の責任問題もあるので…。

◎他地区では、サロンだけでなく“お困りごと”にまで対応している例もある。

◎立地条件や対象範囲によって参加者数も変わる。“足”の確保も考えないといけない。

◎どんな単位で展開していけば良いのか、悩む。

◎月 1 回、福祉センターでボランティアハウスをしている。コーラスをしたり、マジックの
人を呼んだり。25 名ぐらい参加され、みなさん歩いてこられる。

◎ケアマネジャーだったが、「地域で集まるのが少ない」と感じ、ボランティアハウスを
立ち上げた。2～3 人の友人と一緒にやっている。「待っていた！」と喜ばれ、25 名ぐらい
参加されている。

◎いろいろ相談できる場でもある。気楽に話せる雰囲気がある。

◎ボランティアハウスを立ち上げた時の手続きが面倒だった。さまざまな所で印鑑が必要。
もう少し簡単に立ち上げられたら良いのに。各地にたくさんできたら良いと思う。

⇒立ち上げや準備をサポートする仕組みがあれば良い。

⇒社協からお金の補助はある。

◇クラブ活動

◎シニアクラブでクラブ活動をしている。カラオケ、クロリティー（競技輪投げ）など。

◎積極的な方が多い。とにかくみんなで集まるのが目的。

⇒このクラブで何かやれないだろうか？介護保険のすき間のサービスなど。

⇒ネットワーク作りをして、まずは組織作りができると良いと思う。

⇒行政だけに任せては、支援体制作りも無理だと思う。

◇近隣ケア活動として

◎三世代が交流する場を作っている。高齢者と子どもたちとの交流をしている。

◎独居の方が多いため、お困りごとをどうしていくかが課題。

◆ごみ出し

◎足を骨折して、自分が困った時に初めて気付いた。人に甘える気持ちがあれば良いかも。

◎雪が降った時に大変だった。

◎各地域の管轄を気にして、臨機応変な対応ができていない。

⇒捨てる時と、管理する時をしっかりと決めれば、使い勝手の良いごみすて場になると思う。

⇒細かいことを決めすぎると、かえって使いにくくなるのでは。

◎金属製のごみ箱は少ない。ほとんどがネット。ネットがないとカラスが散らかす。

- ◎隣近所でも何をしているかわからない。お互いに家の中まで入られるのが嫌。
- ◎ワンコインでごみ出しをしてもらえる地域もある。
- ◎ごみ出し1回100円をお願いしている方もいる。おおむね10分未満は100円。

◆季節の片付け、草引きなど

- ◎よしずの片付けなど、頼まれれば民生委員がやっている場合もある。
- ◎以前は近所の助け、親戚の助けがあったが、今は親戚同士の関係も希薄になっている。
- ◎草刈りは本当に頼みたい。

◆ペット

- ◎団地住まい。犬を飼っているが、散歩が苦痛になってきた。
- ◎ケアマネジャーに犬の散歩を頼んできた方もいる。

◆買い物、通院、外出など

- ◎ふれあいバスの利用率が悪い。バス停が少ない。どの経路も目的地まで大回りになる。
⇒実際に体験してみないとわからない。ふれあいバスに乗ってみよう。
- ◎自分の地域にはふれあいタクシーがない。
- ◎これまであったスーパーマーケットや商店がなくなってしまった。
- ◎高齢世帯が多い。独居も増えてきた。買い物が困る。商店街が近くにない。
⇒商店街や店に働きかけ、移動販売を頼んでみてはどうか。
- ◎坂が多い地域では買い物が不便。何らかの支援を考えないといけない。
- ◎配食サービスは行き届いている。
- ◎「病院に行く方法がない」と言われる人が多い。
- ◎近所の“普通の人”が車に乗せて連れて行くのは、何かあった時に責任が持てない。
- ◎地域として、お互いに支援し合える雰囲気ではない。組織としてあれば依頼しやすい。
- ◎外出に支援が必要な状態になれば、それだけで施設入所も選択肢に入ってしまう。
- ◎駅が遠く、車が必要な地域。
- ◎免許を返納した人はうつになりやすい。交通手段を考えるだけでなく、免許を返納した人に、地域で行われている活動への参加を促すことができると良い。

◆認知症

- ◎夜にそこらへんを出歩いていて心配。今のところご自分で家に帰れるようだが…。
- ◎ご家族と2人暮らしだが、ご家族は日中仕事で、ご本人はほぼ一人の状態。
- ◎近所のうわさになることが嫌で、ご家族は認知症のことを話さないことが多い。
- ◎認知症カフェなどに参加したら良い。

◆自治会の係など

- ◎地域に高齢者が増えてくると、班長の役が大変になってくる。

◆介護保険サービス、要介護認定

- ◎「要介護」から「要支援」になった人がかなりいる。
- ◎精神的な問題の場合、必要なサービスが受けられなくなっている。認定調査の方法を考える必要がある。

◆全般

- ◎ママさんデビューと同じように、歳をとってからの地域デビューは難しい。
⇒何かサポートする仕組みができないだろうか？

